

イヒナビ

vol.15

ihinavi

march-1/2025

旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店

東日本大震災を振り返る

ニュースから流れる、衝撃の映像に絶句したあの日

2011年3月11日 14時46分

あの時、あなたは何をしていましたか？

東日本大震災で液状化した東京ディズニーリゾート

家を建てるなら土地選びが重要

ニュースから流れる、衝撃の映像に
絶句したあの日、、、

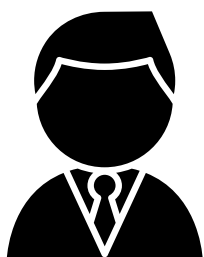
2011年3月11日 14時46分 あの時、あなたは何をしていましたか？

イヒナビをご覧いただいている、提携企業の皆様の中には、阪神淡路大震災に遭遇された方もいらっしゃるかもしれません。阪神淡路大震災が発生したのは、1995年1月17日、朝の5時46分でした。その時の衝撃は日本を悲しみに追いやりました。それから16年後の東日本大震災では、地震だけではなく、地震の影響による津波でさらに被害が大きくなりました。津波に飲み込まれていく街並みの映像は、また日本人の心を大きく揺さぶりました。

東日本大震災が発生した2011年には、スマートフォンも普及し始め、被災された方が当時の映像を撮影していたこともあり、よりリアルな災害の実態が、各々の携帯などで撮影され、記録され、それがニュースに流れ、現実とは思えない映像が何度も流れることで、私たちは大きな恐怖に包まれました。

旭化成ホームズ東京法人支店のスタッフは あの日、こう過ごしていました・・・

編集担当である筆者は、当時マンションの10階でパソコン仕事をしており、グラッという大きな揺れを感じ、パソコンを支えようとしてしました。窓の外を見るとベランダから広がる景色が揺れていたのを記憶しています。さらに、パソコンやテレビが倒れ込み、冷蔵庫が開き、中から食料が落ちてきました。他のスタッフにも当時を振り返ってもらいました。



東京法人支店T氏

目の前で液状化現象

お客様とのアポのため幕張展示場内で車に乗ろうとした瞬間でした・・・埋め立て地のため、周りの車が上下左右に揺れまくり、地面もたわみ、咄嗟に近くの車につかまりました・・・。

「これは大変なことになった・・・」、お客様にアポ行けない旨を伝え事務所に戻る途中、海浜幕張駅前の道路から水が噴き出していました。これが液状化現象でした。

**東京23区においても
ほぼ全ての区で震度5弱以上**

首都圏で最大震度6強を観測



東日本大震災では、首都圏でも最大震度6強の強い揺れを観測し、東京23区でも震度5弱以上を観測しました。首都圏で震度6弱以上を観測し、圏域のほぼ全域で強い揺れを観測したのは、1923年の関東大震災以来だそうです。そしてこの影響により広い範囲にわたり液状化現象や津波が発生しました。首都圏での被害は死者・行方不明者61名、住宅の全・半壊11,557棟にも及びました。

前ページでご紹介したように、幕張エリアなどは、液状化現象が発生し、東京ディズニーリゾートも大きな被害となりました。

東京ディズニーリゾートでは何が行われていたのか？



東京ディズニーリゾートは、9割近くが、キャストなどのアルバイトスタッフで成り立っています。そして、かなりの頻度で避難訓練が実施されているそうです。

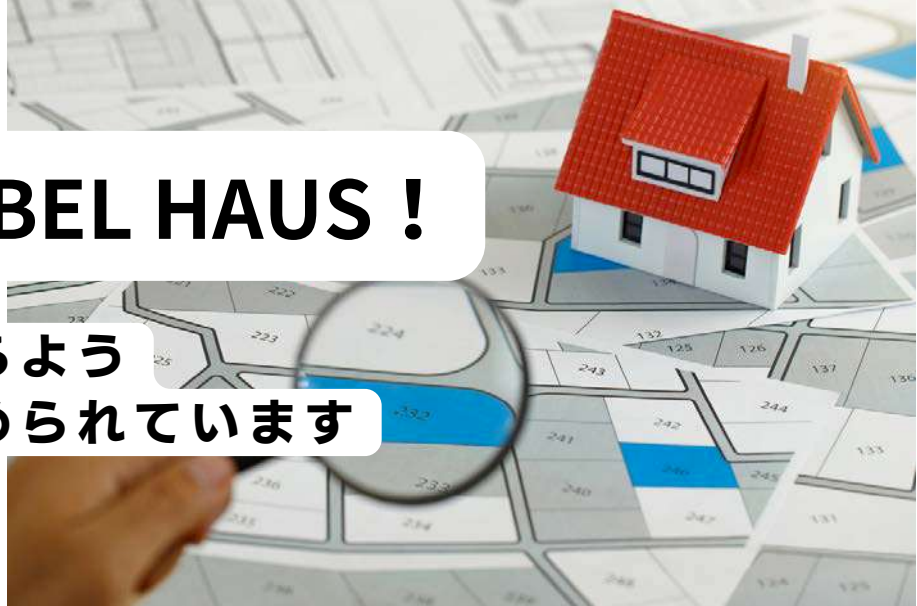
東日本大震災の時も、キャストが機転をきかせ、シャンデリアの下は危ないので通らないよう誘導したり、ぬいぐるみを防災頭巾代わりにするなどの対応をしていました。

家を購入する際には、その土地も調べておく！

このようにキャストの力で不安を最小限にしてくれた東京ディズニーリゾートも、周辺が液状化現象となり、休園をせざるを得ない状態も続きました。浦安エリアは埋立地のため、災害時は浦安のような埋立地では、このような液状化現象も考えられます。家を建てるために土地を購入する場合は、ぜひ事前に私たちにご相談いただけると嬉しいです。土地をご購入したいエリアなどのご相談も承ります。

土地探しからHEBEL HAUS！

災害被害が最小限になるよう
安心した土地選びが求められています



旭化成ホームズ不動産情報ネットワーク「ACE」は関東、東海、近畿、西日本の各エリアごとに地元で実績のある不動産会社と提携しています。独自のネットワークを構築し、お客さまにより良い物件情報を即座に提供できるシステムを整えています。

これから大きな確率で発生すると言われている、南海トラフ地震や、首都圏直下型地震などでも、被害ができるだけ少ない土地を選ぶことをお勧めします。

そしてHEBEL HAUSの災害に強い家を、災害被害が少ないと想定される土地に建てることで、さらに安心な暮らしを手に入れることができます。

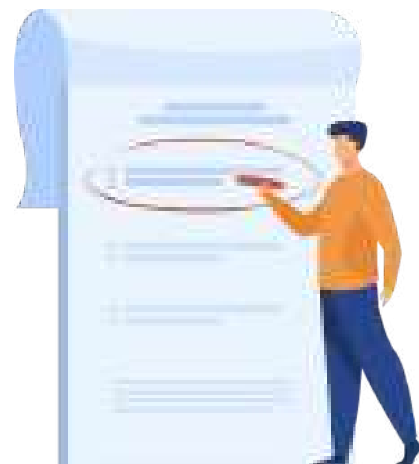


土地を決めてからハウスメーカーを決めた方がいいの？

土地を探す段階から、私どもにご相談ください。土地によっては、お客様が希望されている間取りを実現できない可能性もあるので、ご希望の間取りやプランを想像しながら、一緒に土地からお探しいたします。

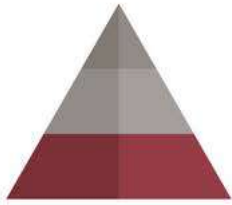
思い描いている家を実現するなら 早い段階から相談することが大切

皆さんは、失敗しない家づくりをしたいと思われているはず。せっかく家を建てたのに、災害で損壊してしまったり、不安定な土地で被害を受けやすくなるのは避けたいところです。災害に強いHEBEL HAUSのこれまでの経験で安心していただけるご提案が可能です。



STAGE.1 | 命を守る

生命と財産を守り抜く頑強な建物



TOTAL RESILIENCE

災害に逞しく立ち向かう。
ヘーベルハウスは総合防災力を
備えた家。



VS 地震

実績と実証を重ねてきた揺るぎない強さで大地震に対抗。頑強な骨組みと独自の制震技術で繰り返しの地震に耐え、家族の命と暮らしを守ります。

VS 猛暑

高温多湿な夏でも厳しい冬の寒さでも、いかに快適に暮らせるか。外気温からの影響を遮り、冷暖房効率を上げ、住まいの快適性を高めます。

VS 火災

過酷な試験をクリアした耐火構造部材のヘーベル版を壁・床・屋根※に採用。万一の火災にも耐え、類焼、延焼による被害の拡大を食い止めます。※プランによって異なります。

VS 風水害

ヘーベル版を配した独自構造は、頑強な鉄骨構造で強風に対抗。また浸水による性能劣化や腐食の心配もなく、継続使用が期待できます。

VS 生物 劣化

完全無機質で腐朽しないヘーベル版と鉄骨で構成することでシロアリや腐朽菌に対抗。生物の影響による構造体の損傷を抑え、住まいの強さを末長く維持します。

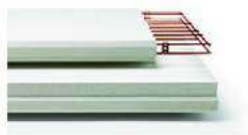
TECHNOLOGY



制震フレーム
「ハイパワードクロス」



オイルダンパー
制震装置「サイレス」



ALCコンクリート
「ヘーベル」



高性能断熱材
「ネオマフォーム」



杭工法
「ASWパイル」

必ず起こると言われている巨大地震に備えて
安心で安全な家を作っておくことが、最も大切な備えなのではないでしょうか？
災害があっても自宅で過ごすことでできる家づくりを私たちがお手伝いします。

＜編集後記＞

東日本大震災では、災害後に長期に渡り計画停電も実施されました。編集担当の筆者は、当時マンションの10階に住んでいたため、エレベーターが動かなくなると、階段で1階から10階まで上り下りをしていました。その後、引っ越しをすることになりましたが、高層階のマンションという選択はこの経験から、ありませんでした。

これから家やマンションの購入を検討されている場合、やはり安心できる土地に戸建て住宅など低層階で過ごせる家づくりが、より安心なのではないか？と考えています。

大きな災害は、明日来るかも知れませんが、日頃の備えはもちろん大切ですが、私たちは今までの災害の経験から、やはりHEBEL HAUSの災害に強い家に住んでいただくことで、安心を手に入れたいただきたいと思い続けています。

ぜひ、土地探しのところから、ご相談いただき、思い描いていた家づくりのお手伝いをさせていただければと思います。

無料の間取りプランなどもご提案可能ですので、まずはお気軽に私たちにご相談いただければと思っています。